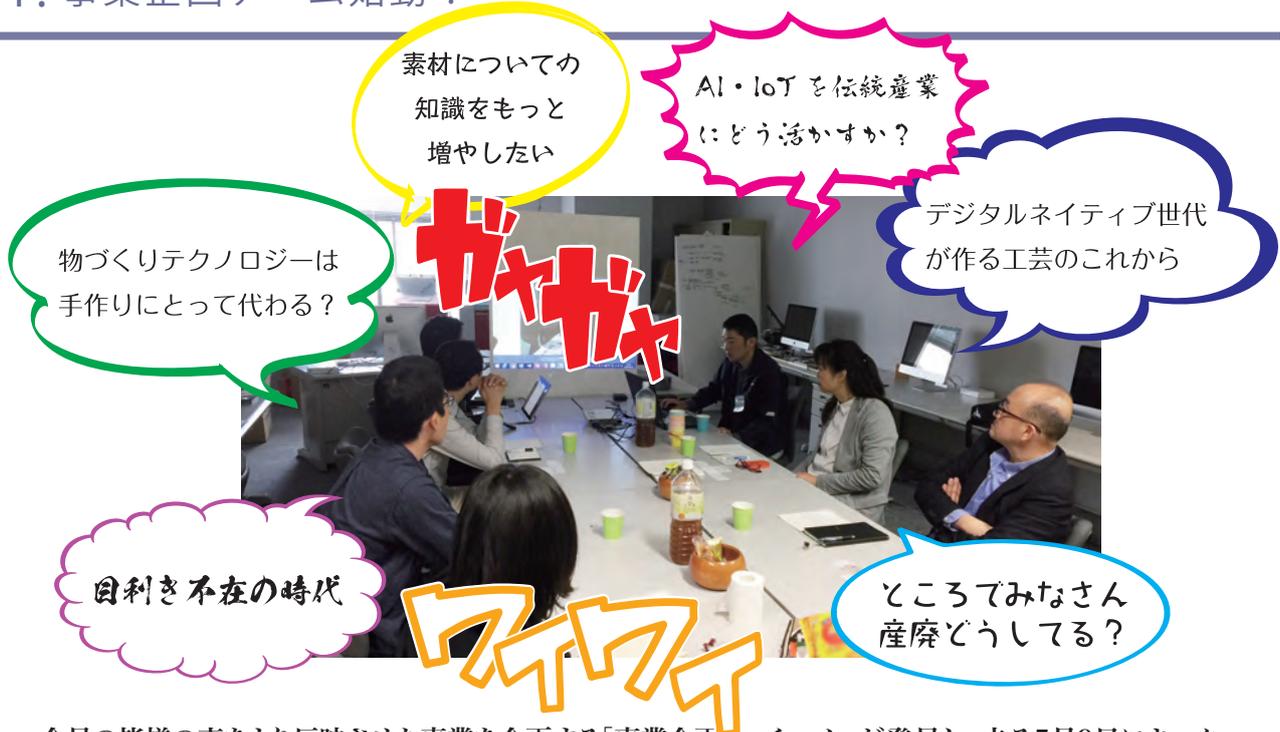


2018.6

事務局 (地独) 京都市産業技術研究所 デザインチーム (担当:比嘉, 竹浪, 木戸)
kyotonokogei@tc-kyoto.or.jp
〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町91
TEL:075-326-6100(代表) FAX:075-326-6170(代表)

No.13 京都工芸研究会便り

1. 事業企画チーム始動!



会員の皆様の声をより反映させた事業を企画する「事業企画チーム」が発足し、去る5月9日にキックオフミーティングを開きました。発足メンバーは金工・竹工・陶磁器など京都工芸研究会らしい幅広い工芸分野からお集まりいただき、異業種間の情報交換をしつつ、自由な発想で盛り上がりました。6月13日には第二回のミーティングを開き、より具体的な事業づくりに取り組みます。

2. 見学会・交流会 報告

- 期 日:平成30年3月22日(木) ●場 所:中之島フェスティバルタワー・ウエスト
- 内 容:<見学会>中之島・香雪美術館 開館記念展「珠玉の村山コレクション ～愛し、守り、伝えた～」
- 内 容:<交流会>コンラッド大阪「アトモス・ダイニング」

見学会前日の3月21日に大阪中之島に新しくオープンした香雪美術館を見学いたしました。村山龍平の膨大なコレクションから、刀剣、仏教絵画、茶道具など多岐にわたる逸品が、収集をめぐるエピソードを交えた丁寧な解説と共に展示され、じっくりと拝見できました。その後、同じビルの40階に位置するレストランにて、眺望を楽しみながら交流会を開催いたしました。プライベートの話題から技術に対する熱い意見交換など…皆様一様に、食事と交流を楽しんでおられました。



白倉恒介館長による美術館解説
(原寸大で再現された茶室「玄庵」前で)



アトモスダイニング
エントランスからの眺望

3. 臨時委員会(4/10火), 第1回委員会(5/25金) 報告

■第1回委員会(5/25金)報告

平成30年度総会に向けて、昨年度事業と決算などの総括及び来年度事業と予算案について審議いたしました。昨年度事業としては、商品開発事業「オトナの京もの」、竹編組勉強会、技術講習会、2回の見学会と事業を行いました。商品開発事業では展示販売にかかる手数料収入を得るなど従来にない取組もありました。本年度は、新たに発足する事業企画チームが活動をスタートしており、今後の事業計画に反映させていくこととなります。昨年実施したアンケート事業の結果を踏まえ、より多くの会員に参加しやすい事業推進を目指していきます。



第1回委員会 (於 産業技術研究所)

■臨時委員会(4/10火)報告 副委員長の交代について

副委員長を務めていただいていた小川正彦氏をご本人の申し出により3月末付けで退会されることとなり、4月10日(火)に、臨時委員会を開催し副委員長の後任人事について審議いたしました。規約(第9条, 第11条)に基づき、現委員から互選により、西村毅氏(象彦)が選出されました。今年度の委員会運営については、2年任期の途中でもあり、委員の補充はせず、委員10名監査2名の体制で進めていくこととなりました。

小川様には旧工芸研究会の委員長へのご就任から昨年度まで長きにわたり役員を務めていただき、研究会活動にご尽力いただきました。この場を借りて、深く感謝申し上げます。

4. 平成30年度総会・講演会・懇親会のお知らせ

●日 時:平成30年6月21日(木)
15:30~19:30

●場 所:KOTOWA京都八坂
京都市東山区祇園町北側310番
TEL:075-551-4122

●内 容:
15:30~16:10 総 会
16:20~17:20 講演会「日本文化とテクノロジー」
講 師 土佐尚子氏
17:30~19:30 懇親会

●臨時会費:お一人5,000円(会場でお受けします。)

●参加申込:別送の申込用紙によりFAXにて
締切 6月15日(金)17:00

*** 皆様のご参加をお待ちしております! ***

【講演会講師紹介】土佐尚子氏(アーティスト, 京都大学教授)



土佐尚子先生は、国際的に著名なアーティストであり、その映像作品はニューヨーク近代美術館、メトロポリタン美術館での招待展示をはじめ、国内外の美術館に収蔵されています。

芸術とコンピュータの融合領域をテーマに多数の研究成果を出す中、米国での研究生活で「日本人としての自覚と日本文化に目覚めた」ことをきっかけに、日本文化をインタラクティブアート作品の形で海外の人々に体験してもらう「山水禅システム」を創作、さらに文化を枠組みとコンテンツに分離してコンピュータ上に載せる「カルチュラルコンピューティング」という方法論を提唱しておられます。

最近では、流体力学を元に予測できない美しい造形を生み出す「流体アート」を日本の四季の色に合わせて映像編集した「サウンドオブ生け花」を制作、NYタイムスクエアでのデジタルビルボード60台を用いての展示が話題になりました(2017年4月1ヶ月間)。2017年度には産技研も協力し漆液を用いた「四神:青龍、白虎、朱雀、玄武」を制作、伝統文化を新しい形で鑑賞できる作品として注目されています。

事務局より

- 2018年5-8月の主な予定
- 5/25(金) 15:00~17:00 第1回委員会
- 6/13(水) 10:00~12:00 事業企画チームミーティング(2)
- 6/14(木) 18:00~20:00 竹編組勉強会(3)
- 6/21(木) 15:30~19:00 平成30年度総会・講演会・懇親会
- 7/19(木) 18:00~20:00 竹編組勉強会(4)
- 8/ 4(土) 京都ラボフェス@産技研

つぶやいていいですか。

GWの宿題として、我が家の荒れ放題の坪庭を大改造しました。ジャングル状態の雑草を全て引き、地面を平らにならし、山で良い石を探してきて据え、苔を植え、白川砂利を敷き詰め、あたかも龍安寺のたたずまい。ユネスコから世界遺産認定の連絡待ち。(た)